

IT夢コンテストを 実施しています!

本学では、全国の中学生・高校生・高専生(3年生以下)を対象に「U18 IT夢コンテスト」を実施しています。



目的

IT夢コンテストは、IT(情報技術)で実現できる未来の社会や新たなサービスなどに関する「夢」を考え、自らプレゼンテーションをしていただくコンテストです。コンテストを通して、中学生・高校生・高専生のITに対する理解や興味を高め、創造力・問題発見能力・コミュニケーション能力を高めることを目的とします。

賞

最優秀賞

神奈川工科大学学長賞

優秀賞

神奈川県教育長賞 神奈川新聞社賞
神奈川県私立中学高等学校協会理事長賞
特別審査委員賞 IT夢コン実行委員長賞
優良賞 他

本コンテストの流れ

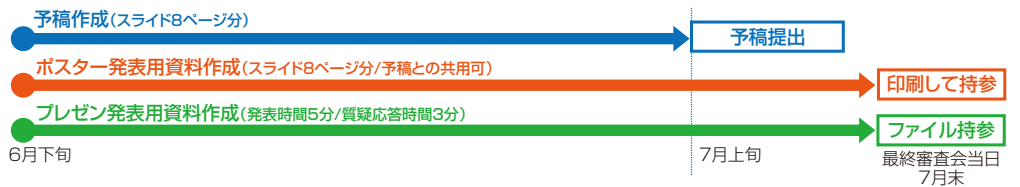
応募書類作成から書類審査結果受取まで

先生方のご指導の下、応募内容に関する学習や討論を経て応募書類を作成していただき、ご提出ください。ご提出いただいた書類(作品)は、審査員(本学教員)によって審査され、全応募作品の中から優秀な30作品程度を選出します。選出された作品は、7月末に本学で開催される最終審査会で発表していただきます。



書類審査選出作品の最終審査会への出場まで

書類審査によって選出された作品は、最終審査会で配布する冊子に掲載する予稿を作成していただき、7月上旬に提出していただきます。また、最終審査会で発表するためのポスター発表用の資料とプレゼン発表用の資料を最終審査会までに作成し、当日持参していただきます。



IT夢コンテスト2017の最終審査会参加者アンケートより

Q1. 本コンテストの良いと思うところを教えてください

生徒

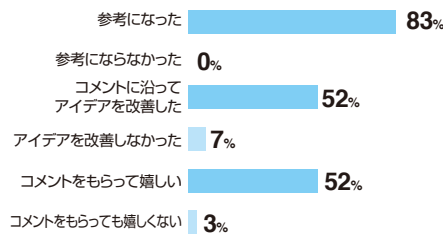
- 応募者全員に嬉しくなるようなコメントやアドバイスをつけてくれるところ
- アイデアがあれば技術者でなくても出場できる
- 人に伝える、言葉にして伝えるという難しさがわかったのがよかった
- 普段、関わりのない学校の人と話ができる
- 同世代の人の力の差がわかる
- 他の発表も聞いてよかった。意見交換や交流ができ、勉強にもなる
- 自ら考える力が身につく

指導教職員

- プレゼンテーションの質疑応答で、予想外のことへの対応力が身につくこと
- 高度な技術を習得しなくても応募でき、ITの関口を広げるきっかけになる。実物のない、アイデアだけの応募が可能なこと
- テーマやフォーマットがあるので授業に取り入れやすい
- 他校のアイデアを聞くことで、刺激になり、参考にできる、交流もできる
- 大学の先生からのアドバイスをいただける点、本戦に出られなくても評価してもらえるので、後の指導がしやすい

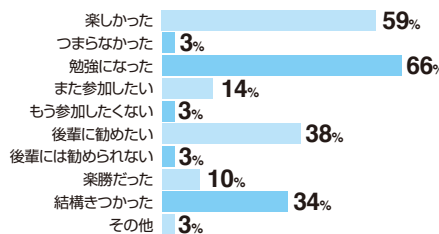
Q2. 応募書類に対する 本学教員のコメントについて

生徒



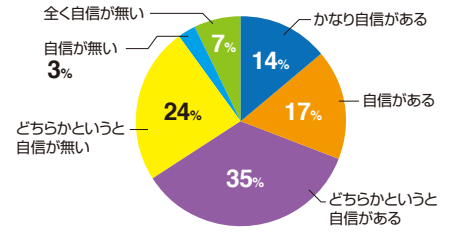
Q3. 応募から最終審査会までの 気持ち

生徒



Q4. 新規アイデアを考える状況に なったときのことを想像しての自信

生徒



実績 IT夢コンテストは2018年で第8回目を迎え、毎年約30校、200作品と多くの中学生・高校生・高専生にご参加いただいています。

【主な参加実績校】

明治大学付属明治高等学校、東京工業大学附属科学技術高等学校、浜松城北工業高等学校、聖学院高等学校、岐南工業高等学校、弘前工業高等学校、関商工高等学校、水戸工業高等学校、伊勢崎工業高等学校、海津明誠工業高等学校、名護商工高等学校、三浦学苑高等学校 等

歴代 神奈川工科大学 学長賞受賞校(過去5年)

- 2013 会津若松ザベリオ学園中学校
- 2014 宇都宮白楊高等学校
- 2015 田園調布雙葉高等学校
- 2016 筑波大学附属桐が丘特別支援学校高等部
- 2017 明治大学付属明治高等学校

後援・協賛

主催 神奈川工科大学 **協賛** (株)神奈川新聞社、電子情報通信学会、情報処理学会
後援 神奈川県教育委員会、厚木市教育委員会、(財)神奈川県私立中学高等学校協会、NTTサービスイノベーション総合研究所、神奈川県高等学校文化連盟

本コンテストについて
ご質問等ございましたら、
右記までご連絡ください。

神奈川工科大学 企画入学課 担当:関口

TEL:046-291-3002



<http://kait.jp/yume/>

IT夢コンテスト過去の情報も見ることができます。



本コンテストイメージキャラクター & 特別審査員 蒼あんな・れいな